

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2025年 11月 6日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企 業 ・ 団 体 名	関門港湾建設株式会社
所 在 地	〒750-0017 山口県下関市細江新町3番54号
代 表 者 役 職 ・ 氏 名	代表取締役社長 清原生郎
担 当 者 連 絡 先	電 話：083-234-3411 (担当：中村善昭)
	メー ル：kanmon@kanmon-const.co.jp
ウ ェ ブ サ イ ト U R L	https://www.kanmon-const.co.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

弊社は創業107年を迎えた海洋土木の専門業者であり、山口県下関市を拠点に浚渫・埋立・圧送プレミックス・港湾構造物工事を実施している。 大型作業船(グラブ浚渫船、リクレーマ船、プレミックス船、コンクリートミキサー船)を11隻所有し、関門航路整備事業をはじめとする国内外多くの大型海洋プロジェクトに参画。

3 側 面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	カルシア改質土を利用した浚渫土の有効活用の推奨。	カルシア改質土施工数量 【現状】78,450 m ³ (2024 年度実績) 【目標】200,000 m ³
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	合理化、生産性向上による時間外労働時間を短縮する。	1人当たりの月平均時間外労働時間 【現状】10.2 時間 【目標】30 時間
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済		

(次項へ続く)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目														
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
																	
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる								8.5 8.8							
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している				4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる			3					8							
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる			3												
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3					
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している				4	5.5			8	9						
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している					5.5			8.5		10.2 10.3					
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる			3					8							
11	環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる											11.6	12.4 12.5		14.1	

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	・本社での電力消費量を把握している ・社内照明を蛍光灯からLEDへ取替え、省エネに努めている							7.3						13				
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	・NOx二次規制に対応した船舶設備を整備している ・作業船の屋上緑化にも取り組んでいる							7.2 7.3					12.4	13.3				
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	・使用箇所に責任者を配置し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる			3.9			6.3					11.6	12.4					
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している							6.6									15		
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	・作業船に海水淡水化装置を装備し、水資源の利用効率改善に取り組んでいる						6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	・ISO14001を取得している			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している													12.6					
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	・現場にソーラーハウスを積極的に設置している							7.2						13				
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	・環境配慮商品の購入促進や環境対応車(EVなど)の導入に取り組んでいる												12.2	13	14	15		
21	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している				3.9									12.4					
22	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	・工事の特性に応じた作業船の改良・改造を随時行っている ・工事ごとに施工検討会を開催している									9								
23	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	・環境に配慮した浚渫土の有効活用に取り組んでいる ・汚濁防止膜の設置など環境に配慮した施工を行っている						6						12	13	14	15		
24	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	・港湾インフラ整備・防災力強化に資する施工を業務としている ・国、県、市などと災害協定を締結しており、防災訓練を実施している	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している					4					9		11	12		14	15		17

